

教育福祉会館耐震改修工事後の 運営に関する官民協働検討委員会 の設置等について

平成30年8月31日

柏市

概要

1 これまでの経緯

- (1) 教育福社会館の耐震補強及び大規模改修に向けた検討→設計
- (2) 教育と福祉分野共通の方向性

2 検討委員会の位置づけ（役割）

時代にあった教育福社会館の今後の運用，具体的なソフト面の展開について，さまざまな立場の方から意見を伺う場。

3 今後の流れ

官民協働検討委員会，分野別グループワーク等の予定

1 これまでの経緯

(1) 耐震補強にあわせた大規模改修

①耐震診断，耐震補強

構造上，内部空間に耐震補強要素を配置できないため，外周部に補強ブレースを配置。耐震壁の関係で制限があり部屋の変更は限定的な使用に。

②バリアフリー化の推進

多目的トイレの増設，情報保障用ホワイトボードの設置，点字ブロック増設等

③建物の長寿命化，衛生，省エネ対策等

外装，内装，トイレ等の改修，空調・エレベーター更新，電灯LED化等

④福祉センター機能の一部見直し

2階老人福祉センターの風呂の廃止，多目的トイレ等の設置，大広間（和室）をみんなが使いやすいバリアフリーの多目的な使用に

⑤障害理解，市民交流・情報発信の場

教育福祉連携，障害理解，市民交流促進の場として喫茶コーナーを設置予定

(2) 教育と福祉分野共通の方向性



ハードのメンテナンスを新たなソフトのスタートにならないかを各分野で位置づけている計画等とも連動し、検討していく。

柏市では、第3次柏市生涯学習推進計画において、地域の課題解決のために「学びあい」ながら活動し、活動しながら学ぶことで、地域力が高まり、さらには住み良い地域づくりにつながるるとともに、全市で「支えあい」が進むきっかけづくりとなることを目指している。

また、保健福祉分野では、2018年度から3年間のノーマライゼーションかしわプラン及び第7期柏市高齢者いきいきプラン21において、ともに重点施策の一つとして、教育福祉会館耐震後の障害理解、社会参加促進の拠点機能や介護予防・社会参加支援の場への転換などの方針を示している。

さらに、現在策定中の第4期柏市地域健康福祉計画において、「地域共生社会」の実現を目指して、高齢者、障害者、子ども・子育て等各分野が連携して、地域づくりに取り組むべき施策を検討しているところである。

教育福祉会館で、それぞれの立場での枠組みを超えて「教育福祉連携」を進めることで、分野共通の柏市における学習成果を生かした地域づくり、地域福祉の実践に繋がる活動内容、連携方法のあり方について検討していく。

2 官民協働検討委員会の位置づけ(役割)

- ❖ 教育福祉会館のハード面の一部リニューアルと新たなソフトのスタートに向け、様々な方面からの意見を伺う。
- ❖ 福祉機能と教育機能が一体となった新たな教育福祉会館になるための官民協働検討委員会を設置する。
- ❖ 当委員会は、有識者、当事者・支援団体、一般市民、行政関係者から構成する。

- ・市民が利用しやすく、社会参加を促進する教育福祉会館に向けたソフト面からの検討
- ・官民協働検討委員会での意見を踏まえ、教育福祉連携による事業を展開

3 今後の流れ

❖ 全体会の議論（協議のポイントとなるようなこと）を分科会で具体的な意見をいただき、その結果を全体会でまとめる。

①第1回官民協働検討委員会

様々な方面から、分科会の参考となるような意見を出してもらおう。

②グループワーク(2回予定)

生涯学習分野、保健福祉分野を取り巻く課題解決に向けた共通の方向性、今後の教育福祉会館のあり方等、具体的な案について、意見を出してもらおう。

③第2回官民協働検討委員会

分科会の意見を検討委員会に提示し再度検討。意見をまとめる。

4 今後のスケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
官民協働 検討委員 会	第1回 開催 (8/31)				第2回 開催 (12/)	〔パブリック コメント〕		運営方 針の確 定・委員 会の解 散
グループ ワーク			第1回 開催 (10/3)	第2回 開催 (11/)				